予算審査 特別委員会Q＆A

平成21年度予算審査特別委員会が3月17日、18日の2日間にわたり開催され、一般会計から水道事業会計までの11会計の新年度予算について活発な審議を行いました。

予算審査の過程の中で、各委員から質問のあった事項の一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

【一般会計歳出】

総務費

広報モニター制度について

Q住民参加の広報誌のモニター制度について、どのように取り組むか伺う。

A広報誌、ホームページを通じて募集し、当初は10名以内でスタートしたいと考えている。付属機関の委員とは違い、無報酬で考えている。電話やメールといった方法で、モニターの方から意見を寄せていただき、広報活動に反映していきたい。

地方バス路線維持費補助金について

Qどのように事業実施内容を確認して補助をしているのか。また、公共交通機関の確保についての取り組みについて伺う。

A生活交通路線、準生活交通路線という区分けの中で、乗車密度や運行回数という基準に合致した場合に補助をしている。

公共交通網のあり方については、いろんな場面を想定しながら検討し、今後の政策にいかしたい。

民生費

ねんりんピックについて

Q経済効果について、試算をしているか伺う。

A特に、試算はしていないが、大会関係者は町内の2か所の宿泊施設に全員が泊まるため、それなりの経済効果はあると考えている。

乳幼児医療費について

Q医療費の助成年齢拡大について、今後必要になると思うが、その考えを伺う。

A今までいろんなアンケート調査を行い、医療費の拡大が一番大きな関心ごとになっているのは十分認識している。これからも、内部で調査・研究をしながら対応していきたい。

引き継ぎ保育について

Q青葉保育所の指定管理者移行に伴い、今年度どのように職員が配置されて、引き継ぎ保育を行うのか伺う。

A町の正職員と、指定管理者の職員が正副担任となり、一年間かけて引き継ぎ保育を行う。引き継ぎ保育をしている職員ついては、引き続き22年度以降もその場所に配置されるよう公募要綱でうたっている。

指定管理に移行する札内青葉保育所

衛生費

ソーラーパネルの設置について

Q安全安心な工事を行うために、指定業者制度を取り入れる考えはあるか伺う。

Aソーラーパネル設置については、パネルを作っているメーカー側の代理店が据え付けている状況である。指定業者制度を取り入れている市町村があれば研究していきたいが、現在のところ法的根拠がないため、指定業者制度を取り入れる予定は考えていない。

複合事務組合の負担金について

Qゴミの有料化に伴い、ゴミの量が減ったのにどうして負担金が増えるのか、今後組合がどのように取り組んでいくのか伺う。

A組合を構成している市町村の会議の中で、色んな話をさせていただいている。組合でも、経費節約に努力をしていると思うが、構成市町村の負担が減るような形で、組合にも働きかけたいと考えている。

労働費

援農協力会について

Q援農協力会の事業内容と、賃金の引き上げ、高齢化している雇用の問題について伺う。

A事業内容ですが、安定的に農業者、雇用者側に事業を供給することと、働く人たちの権利を守るために、賃金協定を定めていくこと、雇用保険や労災保険に加入する手続きを事務局（農民同盟）で実施している。

賃金や雇用の機会については、雇用者、働き手、事務局で協議をして決めていることから、いろいろな機会の中で援農協力会に働きかけをを行いたい。

農林業費

補助金の交付について

Q生乳生産基盤確保支援資金利子補給費補助金と雌雄判別精液購入事業補助金について、農協で人工授精をしていない部分にも町補助が対象となるのか伺う。

A生乳生産基盤確保支援資金利子補給費補助金については、乳牛の導入、購入あるいは保留をするために資金を農協から借りた場合に対象となる。雌雄判別精液購入事業補助金については、農協の人工授精を利用しなくても、雌雄判別精液を購入したしたというものを証明できれば、助成の対象となる。

商工費

商店街活性化について（空き店舗対策について）

Q商工会との話し合いはどうだったのか伺う。

A昨年より商工会と協議を進め、意見の一致を見て決めた内容である。

Q優先順位はどのようになっているのか伺う。

A優先順位については、既存の商店を優先すべきではないかという話もあるが、まず商店街としての形を保つためにシャッターの閉まっているものをなんとか1軒でも開けて、それを目玉として商店街を活性化したいと考えている。

土木費

町道の除雪体制について

Q土日の連絡体制は、どのようになっているか伺う。

A土日祝日も除雪が必要だと思われるときは、土木課に職員が待機して、クレーム処理や出動命令をの作業を行っている。

公営住宅について

Q立替事業等に伴う政策空家は何戸あるか。

A20年2月末で、幕別地域が7戸、札内地域が58戸、忠類地域が5戸である。

桂町東団地

消防費

難聴者の救急要請について

Q難聴者の方がファックスで救急車を要請する場合、ファックス番号等を知らせているところがあるか伺う。

A緊急通報システムの中で、難聴者の方2戸とファックスで連絡を取る形を取っており、その他の方も連絡をいただければ、対応したい。

教育費

地場産食材を用いた食育について

Q地場産の食材を利用してどのように児童、生徒に食育の活動をするのか伺う。

A旬の時期に旬のものを食べさせ、旬の味の大切さと地元の食材に理解を深めてもらう。食育の説明については、給食だよりに幕別産の説明を付けて対応したい。

ふれあい子育て読書推進事業について

Q絵本のプレゼントと、併せてわらべ唄とか、童謡のCDを配布してはどうか伺う。

A本とふれあう、親しむ、親と子がふれあうことを目的に、絵本をプレゼントする事業を実施している。CDの配布については、今後皆さんの意見を聞きながら喜んいただける方法を検討したい。

【国民健康保険特別会計予算】

特定検診について

Q特定検診の対象者とその受診率と、目標年度における受診率について伺う。

A対象者については、40歳から75歳の誕生日の前日までである。20年度の実績については、2月末現在の対象者が6，031人で、その内1，601人が受診していて、受診率が26．55％です。24年度が目標年度で、65％を目標としている。

Q周知の方法については。

A4月に対象者全員に受診票と一緒に個別の通知を出し、さらに広報誌、ホームページ等で周知している。

【水道事業会計予算】

滞納者対策について

Q平成20年度の滞納状況と、給水停止した数について。

A現状では、決算がまだでていないが、昨年と同程度と押さえている。給水停止した数については、19年度69件、今年度は10件程少なく実施している。